

nijiiro にじいろ

vol. 36
2023 Autumn



作品名「うさぎ」 河野病院 作業療法室



医療法人 済世会

MEDICAL CORPORATION SAISEIKAI

理事長 ご挨拶



広報誌にじいろを手にとっていただきありがとうございます。発刊に際し、法人を代表し一言ご挨拶申し上げます。

時の流れは早く、今年度も下半期へ突入いたしました。はじめに新型コロナウイルスの感染者が報告されてからは、早くも4年が経とうとしています。感染症対策で制限されていたあらゆる行事が再開し、街では海外からの旅行者も多く見られるようになりました。世間一般では既にコロナは過去のものになったかのようにですが、医療機関にとっては依然として緊張感が続いています。さらにインフルエンザ流行の懸念もあり、大切な生命を預かる立場として、当グループでは職員一同しっかりと対峙して参る所存です。

我が国は少子高齢化の時代を迎え、医療介護機関はいわゆる団塊の世代に位置する方々が仕事をリタイアする時期、また、医療や介護を必要になったときなどを想定して行動しなければならないと言われていました。しかし、長引くコロナの脅威の下でその社会構造は大きく変化し、まさに今、地域医療を守ること、患者様に安全安心な医療を提供すること、当たり前と思っていたことが極めて難しい壁に突き当たっています。また昨今の世界情勢から、光熱費や食材費が著しく高騰しています。これらは病院にとっても大きな支出増加となっています。「診療報酬」という公定価格に依属する医療機関は価格転嫁ということが不可能であり、極めて厳しい状況にあります。そういった中ではありますが、多くの方に医療を提供するため、色々な課題に知恵を絞って取り組んでいます。「受診して良かった」と患者さんに思ってもらえるような病院であることを、職員一丸となって実現できるよう目指しています。今後も皆様のお声を頂戴しながら、試行錯誤を重ねながら、前に進んでまいりたいと思う昨今です。

さて、別でもご紹介がありますが、今夏ご縁をいただきアビスパ福岡（サッカーJリーグ）のオフィシャルスポンサー企業の仲間入りをしました。初代理事長である河野正は生前「スポーツによる健全な青少年育成」に尽力しておりました。私が理事長になって以降は、自身が野球好きということもあり福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサーとして微力ながら野球を通じた地域振興を心がけてまいりました。ここ数年は、度々グループ観戦イベントを企画し、職員の皆さんと PayPay ドームに足を運び、ホークスを応援しました。今年初めてアビスパ福岡観戦イベントを企画したところ、また多くの職員の方々に集っていただきました。今後も感染症対策で制限がある中ではありますが、スポーツに限らず様々な企画や活動を通じて、医療法人済世会は安全安心で笑顔あふれる病院であるよう切磋琢磨してまいります。未筆ながら、にじいろを読んでいただいている皆さまのご多幸を祈念申し上げ、理事長挨拶とさせていただきます。

ロゴの誕生をうけて.. 看護部のユニフォームをリニューアル!



従来のターシャスタイルから
スクラブスタイルへ

さらっと着ることのできるスクラブは、ストレッチ性に優れておりスタッフからも大好評です。患者さん目線でも、スタッフに対してよりカジュアルな印象を与えてくれるようになりました。

性別で分かれたカラー制度を廃止



男性でもピンクが着たい! 女性でもピンクはちょっと苦手。。といった意見にお応えし、これまでの性別ごとで分かれたカラー制度を廃止いたしました。今後は好きな色をお選びいただけます。左腕のところには、ワンポイントで新しく誕生したロゴのワッペンが縫い付けられています。今後、白衣や調理衣など、その他のユニフォームへも順次ワッペンを縫い付けていく予定です。みんなでお揃いのワッペンを付け、グループ一丸となって頑張ります。お楽しみに!

誕生しました



法人ロゴが

グループ設立 76 年を迎えた昨年、法人のロゴが完成いたしました。3病院の象徴ともいえる時計台と、当院の掲げる「にじいろプロジェクト」の虹をモチーフに作られました。7色ではなく3色でかかる虹は、3病院のイメージカラーで構成されています。また、よく見ていただくと2時をさしている時計の針。時計の絵では10時10分が標準とされていますが、職員のアイデアで「にじ」とかけてあえて2時をさしたデザインになりました。

話は飛びますが、世界的に有名な緑色の某コーヒーチェーン店は、数年前にカップのデザインから社名と商品名を取り除き、シンボルマークのみに変更しました。「ロゴだけでうちと分かってもらえるような企業になりたい」と創業者が会社設立当初から思っていたそうです。当法人も同様に、今後地域の壁を超えて沢山のの方々にこのロゴを周知していただき、長く愛されるものであってほしいと思います。

訃報

河野名島病院副院長の福田秀次先生が、令和五年五月十四日に享年七十七歳にてご逝去されました。先生は令和元年より河野名島病院の副院長を務めておられ、職人的臨床医として一人一人の患者さんに寄り添った医療を提供してくださいました。謹んでお知らせ申し上げますとともに、福田先生の生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。



アビスパ福岡を 応援しよう！



この度、河野病院グループは、アビスパ福岡とパートナーシップ契約を結びました。アビスパ福岡は、今季でJリーグでの3シーズン目を迎え、今後の活躍がますます期待されるチームです。今後はスポンサー活動を通じて、福岡県の地域活性化と地域スポーツの発展に貢献できるよう応援してまいります。

さて、9月10日には河野病院グループ初となる、第一回アビスパ観戦イベントを行いました。32名でルヴァン杯準優勝をかけた戦いを応援し、見事2-0でアビスパを準優勝へと導きました！ホームのベスト電器スタジアムには、当法人のロゴを持ってくださった小田逸稀選手（背番号16）のパネルがありますが、先日の試合で小田選手は1アシスト1ゴールの大大活躍！今後の活躍へも期待しています。

また試合中には、ゴールコート裏にある「EDビッチビジョン」へ当法人のロゴが流れます。皆様も、ベスト電器スタジアムへ遊びに行かれた際には、ぜひ見つけてみてくださいね。

編集後記

見知らぬウイルスが世界に脅威を見せた2018年。流行し始めに「年内いっぱいマスク生活かなー」と友人と話していたことが懐かしいくらい、あれからあっという間に5年が経過しました。さまざまなイベント制限のなか、広報誌にじいろもなんと約二年ぶりに発行することができました。当院では、マスクの着用やアルコール消毒など感染症対策に継続的に協力をお願いしておりますが、その中でも今年度はスポーツ観戦イベントのほか、新年会なども少しずつ復活できればなと思っております。院内イベントに限らず、地域の方々との交流も少しずつ戻り、みなさんと笑顔で過ごせる日々が増えていくことを楽しみにしています。

OT 作品ご紹介



▼お花紙を使った素敵な貼り絵も完成しました。制作人数は約15名ほどで、作業工程を役割分担して進めていきます。

- ① 下書きをマジックでなぞり、枠を引く係（1～2名）
- ② お花紙を1～2色重ねて丸めていく係（4～5名）
- ③ 丸めたお花紙に水糊を染み込ませ、丸く固める係（4～5名）
- ④ 乾かして固まったお花紙を貼り付けていく係（2～3名）

週に1,2回ほどの活動で、約3ヶ月かけて完成させます。完成作品は毎年福岡市精神保健福祉センターが開催する「ハートメディア」の作品展に出展しており、来場者の方々より寄せられる作品についてのコメントを作者へ伝えることで、さらなる作品製作意欲の向上を目指しています。作品への感想、リクエストがございましたらお気軽にどうぞ★



院長紹介 河野名島病院 津田院長

◆二経歴
昭和49年九州大学卒業。第一内科所属、大学院、米田留学、唐津赤十字病院を経て九大病院勤務、その後福岡通信病院勤務。郵政民営化、経営移譲にて昨年3月まで福岡中央病院、福岡山王病院勤務。

◆二挨拶
令和5年4月より河野名島病院の院長を務めております。九州大学を卒業し第一内科にて勤務の後、福岡通信病院（現福岡中央病院）に28年、福岡山王病院に3年おりました。

日本の医療制度は教育、福祉と同じく社会の骨組みをなす社会資本であるという考え方で進んでまいりました。矛盾も指摘され昭和60年から地域医療計画が始まり、まずは病床規制というところで追加増床が出来なくなりました。医療の高度化、医療費上昇に加えて「フレ」の継続、国民所得の低下、国債に依存した財政など、将来世代へ負担の先延べと医療福祉を取り囲む状況は厳しくなっています。

5疾患5事業と呼ばれる新たな基本政策（がん、精神疾患、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、救急医療、災害医療、僻地医療、周産期医療、小児医療）の中で精神科病床の在り方に関して病床数、病床機能を含めた適正化の議論が今回の医療計画で始まるうとしております。

数年前から現職のお誘いを受けておりましたが、昨年前院長にお会いして、他の精神科病院と同じく厳しい河野名島病院の状況を承りました。

長く内科診療に携わり患者さん方とはこれまで長い付き合いがありました。お元気であった方々が年齢とともに健康に不安を覚え精神的にも病んでしまうのを見てきました。そのような経験から、精神科診療に新鮮な気持ちで向き合っております。

内科疾患についてもどんなことでも概ね対処できる経験を重ねて参りましたのでなんでもご相談ください。幸いです。

菜園ご紹介

前任地の福岡市中央区の病院では屋上、前庭で野菜、植物、桜、植木を育ててました。敷地外壁に沿った100本以上のひまわりは近隣の皆さんにも好評でした。

この4月に河野名島病院に赴任し、精神科病棟では殊更に土と緑の菜園は心安らぐに違いないと適当な場所を探しておりました。選んだ場所は斜面も石ころも多く困りましたが、管理課の方が土を入れてくれたおかげで取り急ぎ、トマト、ナス、キュウリ、スイカ、トウモロコシ、サツマイモ、そしてひまわりを植えました。幸いトマト、キュウリ、ナスをはじめとして実りまして、水やりをして下さったデイケアの方々とおしく食べています。秋からの予定は大根、カブ、ジャガイモと春菊、ほうれんそうなど冬野菜です。楽しみですが大根のために深く掘る必要があり頭を痛めております。



コロナの禍の令和2年4月より、河野粕屋病院に3年間勤務し、令和5年5月より河野名島病院に異動しました。河野粕屋病院での3年間は、鎌田看護部長を始め皆様に指導を受けながら、楽しく勤務させていただきました。心残りといえば、一度もバスハイクなどの院外活動に参加することが叶わなかった点かなと思っております。河野粕屋病院は緑に囲まれ、四季折々の季節を感じながら通勤しておりましたが、河野名島病院は福岡市東区の立地で、毎朝ビル群の中を通勤しております。高台にあるため、360度見渡せる屋上からは多々良川や博多湾を眺めることができ、患者さんにとって私たち職員にとってもとても癒しの空間となっております。



看護副部長紹介 河野名島病院 石井副看護部長

河野病院グループでは、皮膚・排泄ケア認定看護師としてこれまで3病院の褥瘡ケアの質向上にリソースナースとして注力してまいりました。今後も精神科看護の理念である「安全で安心な看護」「個人の尊厳と権利擁護」「自立性の回復を通してその人らしい生活を支援する」を念頭に、職場風土の改善に努め、看護職として役割遂行ができるように支援していきたいと考えております。

日常生活でこんな経験はございませんか？

「この頃つらいから、だれかに話を聞いてほしい・・・」

「最近物忘れがひどくなった気がする・・・」

「お父さんが毎日多量にお酒を飲んでいるけど、止めても聞いてくれない・・・」

「お母さんには悪いけど、自宅介護はもう限界かも・・・」 など

地域連携室では、専門の相談員〔精神保健福祉士〕が対応いたします。

ご本人様はもちろん、ご家族の方も、

おひとりで悩まずに不安や問題解決の窓口としてご利用ください。

また、「医療費や生活費に困っていて、何か助けになる福祉サービスを知りたい」

「自宅からの治療は不安・・・」といった、治療を始めてからのお困りごとに対しても

ご本人様やご家族の方が安心して治療を受けられるようサポートいたします。

どんな些細なことでも構いません。まずはお気軽に私たちにご相談ください。

下記窓口へお電話、またはホームページのお問合せフォームよりお待ちしております。



地域医療連携室

河野病院 TEL：092-947-0611

河野名島病院 TEL：092-681-5231

河野粕屋病院 TEL：092-932-7300

受付時間：平日 9:00～17:00/ 土曜 9:00～12:30

河野病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00

※ 土曜日は受診診断のみ受け付けております

	月	火	水	木	金	土
精神科・神経精神科・心療内科	●	●	●	●	●	午前
内科			午後			
歯科・口腔外科	●		●	●	●	

河野名島病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	●	●	●	午前
内科	●	●		午前	●	午前
皮膚科					午前	

河野粕屋病院

受付時間

午前 9:00～12:00 午後 13:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
精神科・心療内科・老年精神科	●	●	午後	●	●	午前
内科	●	●	午後	●	●	



連絡バスのご案内

乗車をご希望される方は必ず事前にご連絡ください。

※当日の天候、道路状況により少々遅れることがありますことをご了承ください。

オンライン面会のお知らせ

当院では、患者様のご家族に限り、iPadを使用したオンライン面会をご案内しております。面会に使用するタブレットは当院でご用意しておりますので、ご自宅にお持ちでない方でもご案内可能です。

もちろん、ご自宅からの接続も可能です。遠方にお住まいのご家族でご来院が難しい方など、ご希望される方がいらっしゃいましたら当院スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

乗車予約はこちら
092-932-7300

河野粕屋病院 連絡バス運行表（平日・土曜日・休日）

	病院発	JR宇美駅	下宇美口	深町バス停	東志免	志免体育館	JR須恵中央駅	病院着
1便	9:45	9:55	10:15	10:17			10:30	10:40
2便	11:45	11:55	12:15	12:17	12:20	12:25	12:35	12:45
3便	13:05	13:15	13:35	13:37	13:40	13:45	13:45	14:55
4便	14:45	14:55	15:15	15:17			15:25	15:35
5便	16:10	16:20	16:30	16:32			16:45	16:55

5便は病院からの送りのみとなります。



医療法人 済世会

MEDICAL CORPORATION SAISEIKAI

河野病院

診療科：精神科・歯科

平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00 - 12:30

日祝日休診（歯科：土曜日休診）



〒811-2413

福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 139

TEL (092) 947-0611 (代) FAX (092) 947-8598

<https://www.kawano-hp.com/kawano/>

e-mail : info@kawano-hp.com

河野粕屋病院

診療科：精神科

平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00 - 12:30

日祝日休診

病床数：225 床



〒811-2129

福岡県糟屋郡宇美町神武原 6 丁目 1-1

TEL (092) 932-7300 (代) FAX (092) 933-3138

<https://www.kawano-hp.com/kasuya/>

e-mail : kawanokasuya@kawano-hp.com

職員募集中

河野病院グループでは、看護師・精神保健福祉士・調理師などのスタッフを募集しております。パートスタッフからの正社員登用制度もございますので、お気軽にお問い合わせください。詳しくはホームページをご覧ください。

河野病院 採用

検索



河野名島病院

診療科：精神科

平日 / 9:00 - 17:30 土曜日 / 9:00 - 12:30

日祝日休診

病床数：179 床

※デイケア「どリーむ」併設



〒813-0043

福岡市東区名島 4 丁目 28-53

TEL (092) 681-5231 (代) FAX (092) 672-1525

<https://www.kawano-hp.com/najima/>

e-mail : kawanonajima@kawano-hp.com

特定非営利活動法人にじいろ福祉会 小規模作業所

にじいろベーカリー

営業時間：14:30 - 17:00 定休日：土・日・祝日

河野名島病院敷地内

TEL/FAX (092) 672-2416

<http://2416-bakery.jugem.jp/>

e-mail : nijiiro-bakery@kawano-hp.com

訪問看護ステーションパラソル

河野名島病院敷地内

TEL (092) 661-7444

精神障害者グループホーム

白百合荘（男性）福岡市東区

河桜荘（男性）糟屋郡篠栗町



▶ ホームページは
こちらから